2 8	生活文化スポーツ局	スポーツ施設の整備・運営
事業概要	スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、都民の心身の健全な発達に寄与することを目的としてスポーツ施設の整備・運営を行っている。	
これまでの経過	<ul> <li>○令和4年1月に「TOKYOスポーツレガシービジョン」において、「都立スポーツ施設の戦略的活用」について公表した。東京 2020 大会を契機にバージョンアップした都立スポーツ施設を活用し、18 施設のネットワークや各施設の特性を活かしながら、①スポーツでの更なる活用、②多様な活用による新たな体験の提供、③施設・地域との連携の3つの取組で、施設の活用を促進している。</li> <li>○東京 2020 大会に向け、アスリートにとって最高の競技環境を提供するとともに、運営がしやすく、観客が快適に観戦できるよう都立スポーツ施設の整備や改修を進めてきた。</li> </ul>	
現在の進行状況	員会による仮設物撤去工から準備を整えた上で、 ・大井ふ頭中央海浜公・有明アリーナ:令和 ・海の森水上競技場: ・カヌー・スラローム ・東京アクアティクス	園ホッケー競技場:令和4年6月再開業
	大会で使用された 置により、アーバ (2)令和3年3月に ゾーンである有明 (3)令和4年1月に 東京2020大会の ルダリング)、3x3 備するとともに、 る施設を併設する 2 整備運営事業の実	公表した「新規恒久施設の施設運営計画」において、東京 2020 に仮設スポーツ施設の移設、スポーツカフェ・ショップ等の設 ベンスポーツゾーンを形成することとした。 公表した「『未来の東京』戦略」において、アーバンスポーツ 『アーバンスポーツパークを整備することとした。 公表した「TOKYOスポーツレガシービジョン」において、 レガシーを活かし、スケートボード、スポーツクライミング(ボ バスケットボール施設を備えた大会レガシーゾーンを都が整 民間事業者の創意工夫により、地域のにぎわい創出に貢献す こととした。
	(1) 令和4年6月に	PFI 法に基づいて事業を行うこととし、実施方針を公表した。

(2) 大会レガシーゾーンとともに、多目的ゾーンを設置することとし、多目的ゾー

ンについては民間事業者の提案・資金により整備することとした。

# 現 在 $\mathcal{O}$ 進 行 状

況

### 3 今後の開業に向けて

大会レガシーゾーンを都が整備の上、令和6年3月に先行開業し、民間事業者 による多目的ゾーンの整備後、令和7年3月の全面開業を予定している。

## ○東京辰巳アイスアリーナの整備

#### 1 検討経緯

・平成31年3月、東京辰巳国際水泳場をアイスリンク(通年)施設として整備す ることを公表した。

## 2 今後の開業に向けて

- ・ 令和 4 年度 施設運営計画の公表
- •令和5年度~ 改修工事
- · 令和7年度 開業 (予定)

#### ○再生可能エネルギーの導入

東京 2020 大会の競技会場となった都立スポーツ施設の整備に当たっては、「エネルギー 基本計画」や「省エネ・再エネ東京仕様」等の全庁方針を踏まえ、再生可能エネルギー の積極的な導入を行っている。

# 今 後 $\mathcal{O}$ 見 通

L

### ○都立スポーツ施設の戦略的活用

東京 2020 大会を契機に、新規恒久施設の整備や既存施設のバリアフリー化等の改修、 さらに、大会のレガシーを活かしたパラスポーツやアーバンスポーツ施設も誕生するな ど、都立スポーツ施設はバージョンアップした。都立スポーツ施設を最大限に活用する ため、全18施設のネットワークや各施設の特性を生かした取組を進め、各施設を戦略 的に活用し、そのポテンシャルを最大限発揮させることで、都民の皆様に届ける価値を 最大化していく。

問い合わせ先

生活文化スポーツ局 スポーツ施設部調整課

電話 03-5388-2179